

高等学校 令和5年度（1学年用）教科		情報	科目 情報Ⅰ
教科： 情報	科目： 情報Ⅰ	単位数： 2	単位
対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組	使用教科書： （ 情報Ⅰ Step Forward! （東京書籍） ）		
教科 情報	の目標： 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
【知識及び技能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
科目 情報Ⅰ	の目標： 問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育む。		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	B データの活用 【知識及び技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・情報量の計算 ・文字コードの成り立ち （教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用）	【知識・技能】 データの内容や形式を踏まえて、その収集方法を理解するとともに技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 必要なデータの収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	18
	B データの活用 【知識及び技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・情報量の計算 ・文字コードの成り立ち （教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用）	【知識・技能】 データの内容や形式を踏まえて、その収集方法を理解するとともに技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 必要なデータの収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2 学 期	B データの活用 【知識及び技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・情報量の計算 ・文字コードの成り立ち (教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用)	【知識・技能】 データの内容や形式を踏まえて、その収集方法を理解するとともに技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 必要なデータの収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	9
	C プログラミングとシミュレーション 【知識及び技能】 アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングによって問題を発見・解決する活動を通して、問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする。	・コンパイルソフトの活用 ・民間企業のプログラミング学習システムの活用 (教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用)	【知識・技能】 プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を解決するプログラムの結果を基に試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとする。	○	○	○	10
	D 情報デザイン 【知識及び技能】 目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通じ、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付け、コンテンツを表現し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	・プレゼンテーションソフトの活用 ・描画ソフトの活用 ・情報機器や周辺機器の種類 ・ファイル形式と拡張子 (教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用)	【知識・技能】 コンテンツ制作の一連の過程について理解している。 【思考・判断・表現】 目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーションの目的や伝える情報を明確にしようと粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用しようとしている。	・ワープロソフトの活用 ・描画ソフトの活用 ・情報量の圧縮 ・情報の暗号化 ・情報量の単位 (教育的効果の観点から、一人1台端末の活用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用)	【知識・技能】 情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	10
							合計 70